

# 令和3年度 設置検討協議会の検討経過について

資料 1

今年度、設置検討会議では、カリキュラム案を検討し、報告書をまとめる  
 第3回の設置検討会議では、カリキュラム案を取りまとめ

区 分		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設置検討会議		第1回:7/5					第2回:12/16		第3回:2/9	
実務者会議				9/7、11/12 開催				1月末～		
検 討 事 項	就 業 前	長期研修 カリキュラム	カリキュラム検討の ポイント 栃木県の特徴 等	県内事業体の 意向調査や、 他県の事例の 分析をもとに 素案作成に 向けた検討			カリキュラム素案 の検討	第2回設置 検討協議会の 結果を踏まえ、 カリキュラム 素案の取りまと めに向けた 検討作業	カリキュラム案 の取りまとめ	
		単科研修 カリキュラム					長期カリキュラム素案 から選抜し検討		カリキュラム案 の取りまとめ	
	就 業 後	スキルアップ研修 現場指導者研修 林業経営者研修 カリキュラム					既存の取組や他の 研修制度と調整した 素案を検討		カリキュラム案 の取りまとめ	
その他検討に必要な事項				県内事業 体への意 向調査等					報告書の 取りまとめ	

## 第2回 栃木県林業大学校(仮称)設置検討会議(R3.12.16)における委員の主な意見

### 1 カリキュラムについて

- 今後の林業界をけん引するような**高い志を持った人を育てるカリキュラム**にすべき。
- 既就業者の研修は、既存の「**緑の雇用制度**」と**対象者を区分**することを基本とすべき。
- **座学が少ない**、研修生のレベルに応じて充実させるなど、柔軟性があると良い。
- **資格取得は、季節の影響に配慮**すべき。(冬季はすぐ暗くなる等)
- いつでも**気軽に機械に触れられる**ことが有効。
- **インターンシップは、夢のあるものに**すべき。(厳しいと辞めてしまう)
- 実習地について、県有林等を中心とするが、**宇都宮大学演習林、国有林からも実習地提供**の協力。

## 2 講師について

- 講師の指導力に差がないようにすべき。
- 機械演習はメーカーに依頼することも有効。
- 資格が必要な講座の講師として、県職員を養成したりカレッジ研修の修了生を確保しておくべき。
- スマート林業を教えられるような人材を育てることも必要。

## 3 周知PRについて

- 受講生への給付金や就職への相談アドバイスなど、メリットを発信すべき。
- 若い人を惹きつける魅力的なPRが必要。
- 林業大学の卒業生が同窓生として集まれる場面をつくることも有効。